

岩佐さんのマウイへの温情に感謝

武田和男

私たち夫妻がマウイのガーデンを、前のオーナーが白血病でギブアップして売りに出されたのを求め、エンチャントング フローラルガーデンの名前で始めて15年の月日が流れた。この間に、岩佐さんから受けた温情は計り知れないものがある。

この間にご夫妻で3回もマウイの私達のガーデンを訪問、激励していただいたことは、今は私達にとっては忘れがたい思い出となった。

第1回目は、1992年8月12日から15日で、私達が1991年12月にマウイに来てまもなくで、岩佐さんがサカタのタネの専務ご就任直前の盆休みを利用しての、昌子夫人と令嬢智子さんの3人の家族旅行であった。昌子夫人と大学同級の私の妻和子のご縁もあり、新築のマウナブレースの家にもお泊りいただいたり、マウイの最高峰ハレアカラ(3,055m)にドライブして有名なギンケンソウを見たり、用意したカーナバリのマウイ島最高級のホテルのスイートルームで一家水入らずの時を過ごされたり、グルメの岩佐さんの招待でご馳走になったり、今は夢のような思い出となった。

第1回来島 1992年8月12～15日



8月12日 マウイ島イヤオ溪谷：ニードルポイントでの岩佐吉純氏一家と武田和子（家内と令夫人岩佐昌子さんは園芸科昭和30年卒の同級）



8月12日 エンチャントング フローラルガーデンのタビビトノキの前で：右から岩佐氏、令嬢智子さん、令夫人昌子さん、岩佐氏、武田和子

2回目は1996年8月13日から16日で、新しくオープンした、豊明花卉市場の社長で江戸の園芸書のコレクターとして知られる小笠原亮氏ご夫妻と、4人一緒に来島であった。ハレアカラへのドライブや、ハナホテルに一泊し、ハナからハレアカラの裏側をまわるツアーなど、今も思い出に残るシーンがまぶたに浮かぶ。とくにカウボを過ぎるとテデシ・ワイナリーまで一軒の家もない全くの溶岩の乾ききったハレアカラのスロープが海まで続く壮大な景色とそこにだけ育つデイコの仲間 *Erythrina sandwicensis* などの珍しい植物を観察しながらの、それぞれに人生にも、園芸界にも、植物にも含蓄のある初老夫妻3組の楽しいひと時であった。

第2回 1996年8月13～16日



8月13日 ガーデンショップの前で

右から小笠原亮氏、武田和男、小笠原夫人、岩佐夫人、ガーデンのワーカーでハワイアンのかオキ氏、武田和子、岩佐氏



8月13日 ガーデン内で武田の説明を聞く岩佐氏

第2回 1996年8月13～16日



8月14日 マウイ島最高峰で国立公園のハレアカラ山頂3055mで
右から岩佐吉純夫妻、武田、小笠原夫妻



8月15日
マウイ島カウボの店先で犬と遊ぶ
岩佐氏



8月15日
レストランでの岩佐夫妻

カウボの最後の売店をのぞいた折に撮った写真の犬と遊ぶ岩佐さんは、私が新制大学1期の学生当時のある日、当時穂坂一郎教授の助手であった岩佐さんの総武線中山にあった家に招かれた日の記憶に重なるものであった。家には彼がかわいがる一匹の犬、アメリカンコッカースパニエルがいて、学校では見せないやさしい一面に驚いた。

我がガーデンの女性マネージャーでポルチギー系アメリカ人も2回目から岩佐さんの幅の広い気づかいのお人柄にほれ込み、「ミスター 岩佐はマウイに住んで暮らせるパーソナリティーだ。ここに住めばよい」と言い出し、彼の会社での立場も考えずにすっかり親しみを持ち、そのような彼女が海苔好きなことを覚えておられ、来園の時には彼女用の手土産も用意して下さるなど、万事に気配りしていただいた。

3回目は2003年1月30日で、サカタのタネ社の専務を退かれ、その後になられた顧問も辞められ、フリーになられて間もなくで、ご夫妻二人の来園であった。マウイの私の友人で日系二世の、園芸書と植物、特にティープランツ (*Cordyline fruticosa*) のコレクターのイワミ・ツネオ氏の家を訪ね、植物や園芸書の談義で時のたつのを忘れるほどであった。その後私も同行してハワイ島を訪ね、ヒロから私が運転してキラウエアのハワイ火山国立



1月30日 ハワイ島ヒロ郊外の熱帯ジャングル：ビレヤの専門パシフィックアイランド ナーセリーを訪ねて



1月30日 マウイ島ワイルクの日系三世で島一番の園芸植物コレクターのイワミ・ツネオ氏宅で：右からイワミ氏、武田、岩佐氏



1月30日 ヒロ郊外のハワイ島随一のコレクターで日系三世のグレン・サハラ氏宅を訪ねて：右から岩佐吉純氏、武田和男、グレン氏

公園に寄り、コナまでご一緒した。途中ヒロ郊外のバハクのビレヤ(熱帯シャクナゲ)の専門ナーセリー Pacific Island Nursery と、日系三世の私の友人で園芸植物のコレクターのグレン・サハラ氏の家を訪ね、珍しい多数の種類を見て暗くなるまで話の花を咲かせたのも思い出に残る。ヒロに戻り、グレンお勧めのレストランでまた話の続きの始末。先月、来園したグレンにミスター岩佐逝去の報を話すと、たった一度の訪問なのにしっかり覚えていて懐かしく思い出を語るほどで、これも岩佐さんのお人柄と思った。

私が最後に岩佐さんにお目にかかったのは2005年5月27日に横浜西八朔の家にお見舞いに伺った日で、手術後退院されて帰宅3日目とのことであった。思えば大学では師で先輩、卒業後もサカタのタネでは上司、リタイア後は友人として長い間お世話になった。感謝の思いでいっぱい。有難う岩佐さん。



2005年5月27日 横浜西八朔の岩佐邸の前でのご一家
(3日前に手術を終えて退院、帰宅されたとのこと)